

保護者用

登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。

登園届（保護者記入）			
まみい・キッズこども園 園長殿			
園児氏名 _____			
年	月	日	医療機関名「 _____ 」において
病名「 _____ 」			と診断されました。
その後、病状が回復し、集団生活に支障がない状態となりましたので登園いたします。			
年	月	日	保護者名 _____ 印 _____

こども園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

在園児がよくかかる下記の感染症については、医師の診断にしたがい登園届の提出をお願いいたします。

なお、※「登園のめやす」を参考にし、子どもの全身状態が良好となり、園での集団生活に参加できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症

病名	主症状	感染しやすい期間	※登園のめやす
溶連菌感染症	発熱、喉の腫れと痛み、細かい発疹が身体や手足に出る。3日目頃に舌がイチゴのように赤く腫れる	適切な抗菌薬の治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬を内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱、頭痛等の風邪症状がゆっくり進行し、咳が徐々に激しくなる	適切な抗菌薬の治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	発熱と喉の痛みを伴う水疱が口腔内にでき、唾液が増える。手足の末端、お尻等に水疱が生じる	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご病)	発熱、頭痛等の軽微な症状のあと、鼻を中心に左右対称の紅斑ができ、多少の熱感がある。四肢にも網目状の紅斑が出る	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス)	発熱、吐き気、嘔吐、下痢(白色調)。主に冬に流行し、少量のウイルスでも発症する。家庭内感染にも注意が必要。	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているため注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	1～3日続く高熱、喉の痛み等。喉の奥に赤い粘膜疹ができ、水疱や潰瘍となる	急性期の数日間(便の中に1カ月程度ウイルスを排出しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発熱、鼻水、咳、ゼイゼイする、呼吸困難感	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
帯状疱疹	小さい水疱が肋間神経に沿った形で現れる。(神経節に潜んでいた水痘・帯状疱疹ウイルスの活性化による)	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮(かさぶた)化してから
突発性発疹	38℃以上の高熱が3～4日続いた後、鮮紅色の発疹が出る	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(—)としている。